

日立ダイアグノスティックツールHDM-9000ユーザー様

平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。
HDM-9000ソフトのバージョンアップを行いましたので、ご連絡申し上げます。
* ソフトバージョンアップ手順は下記リンクをクリックして参照ください。

[HDM-9000ソフトバージョンアップ手順](#)

《日野》Ver.3.90

- 2023年7月までの車両に対応しました。以下の機能も更新されます。
 - ・自己診断(故障コード読取、故障コードクリア、DTCヘルプ)
 - ・実測値(データモニタ)

《いすゞ》Ver.5.61

- エンジンのアクティブテストで項目が重複して表示される不具合を修正しました。

《三菱ふそう》Ver.4.85

- 2010-2018年モデルの中型トラック(ファイター)のリターダシステムでデータモニタのデータが表示できない不具合を修正しました。
- 2010-2012年モデルの大型トラック(スーパーグレート)のEBSシステム(ABS)で故障コードと内容が表示されない不具合を修正しました。
- 2006-2009年モデルの小型トラック(キャンター)のEZGOの作業サポートが表示されない不具合を修正しました。
- 2006-2009年モデルの大型トラック(スーパーグレート)のエアバッグの作業サポートが表示されない不具合を修正しました。
- 2010-2018年モデルの中型トラック(ファイター)のエンジン(型式6M60)の作業サポート「サプライポンプ機差初期化」が表示されない不具合を修正しました。
- 故障コードの読取でP0000(異常なし)のコードが保存されているときに、故障コードリスト数のカウントの間違いによってアプリケーションがフリーズする
またはリストの最後に不要なデータが表示される不具合を修正しました。

《MERCEDES》Ver.3.92

- CLS257.314、E213.077の診断等ができない不具合を修正しました。
- C205、S222、GLC253の前期モデルの作業サポート「カメラ(MFK)キャリブレーション」で「走行によるキャリブレーション」を行うと短時間で完了する
不具合を修正しました。